

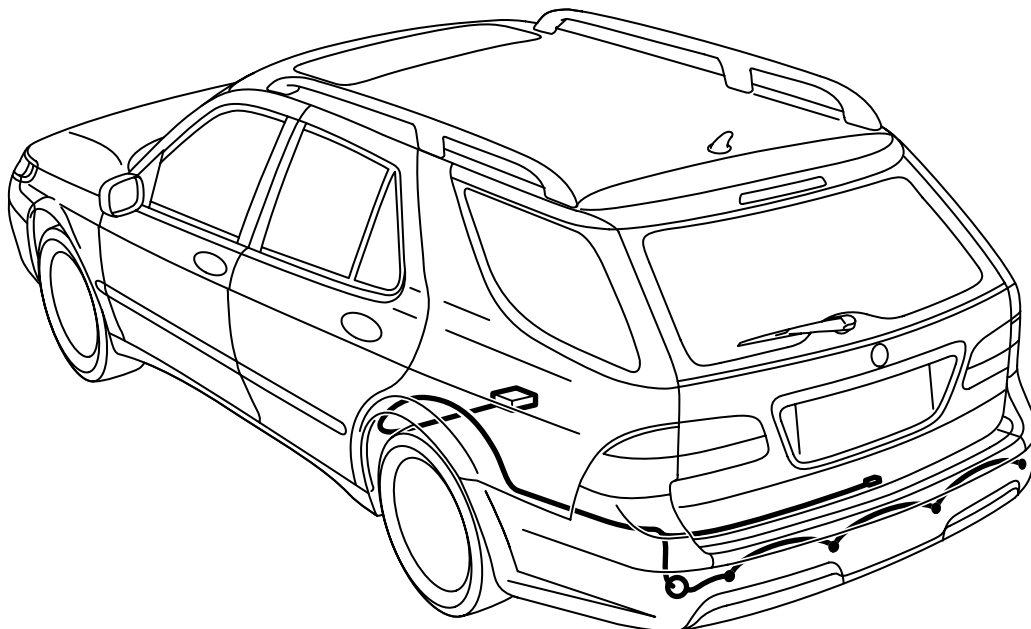


**MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

Saab 9-5 5D M06-

バックセンサー（サブパーキングアシスタンス、SPA）

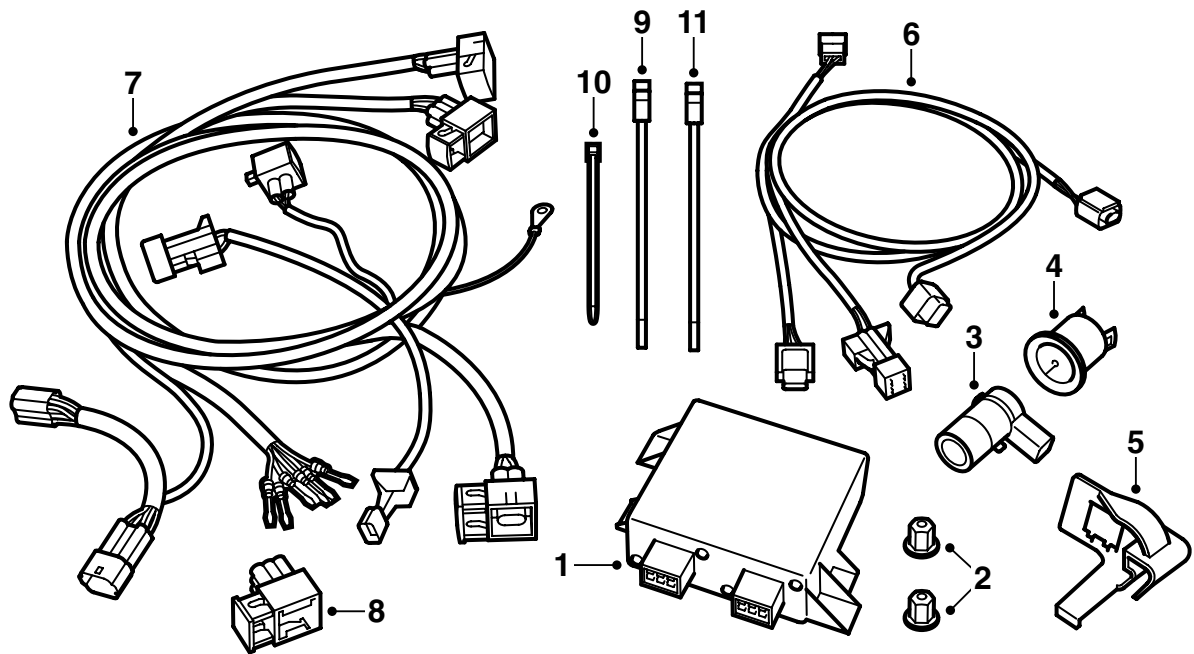
Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
32 025 687	9:40-07	Sep 05	32 025 690	



E930A384

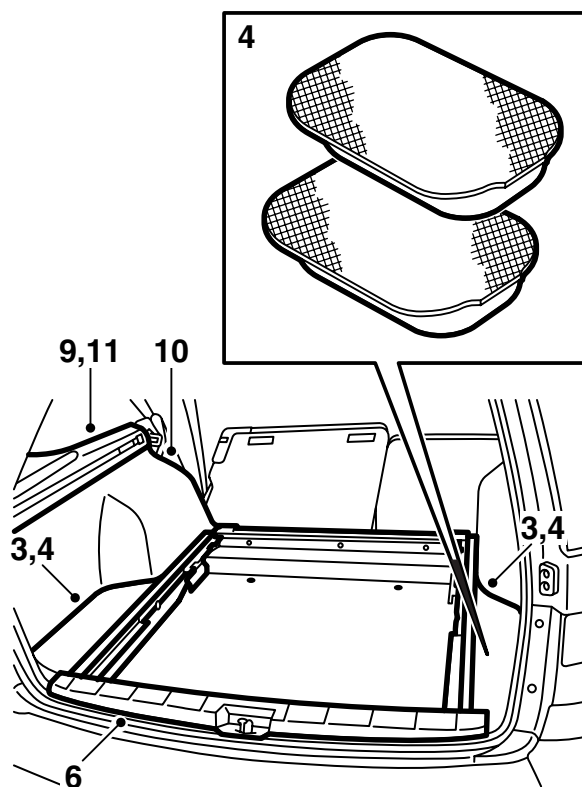
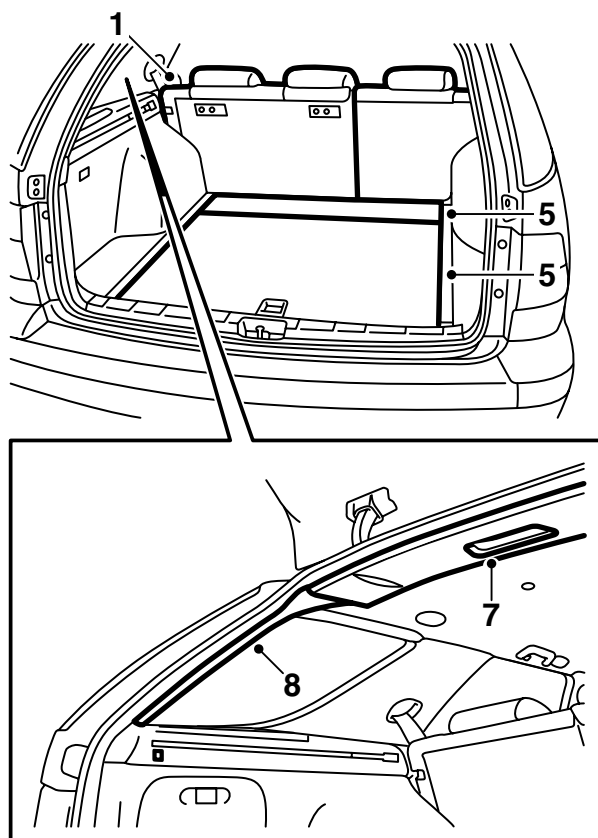
重要事項

このキットを取り付けるには、車両にけん引装置ワイヤーハーネス用予備配線が装備されていなければならない。



E930A385

- 1 制御モジュール、SPA
- 2 プラスチックナット (x2)
- 3 距離センサー (x4)
- 4 ホルダー (x4)
- 5 コネクターブラケット
- 6 ワイヤーハーネス、距離センサー
- 7 ワイヤーハーネス、SPA
- 8 コネクター
- 9 ケーブルタイ (x15)
- 10 ケーブルタイ
- 11 ケーブルタイ (x2)



E930A386

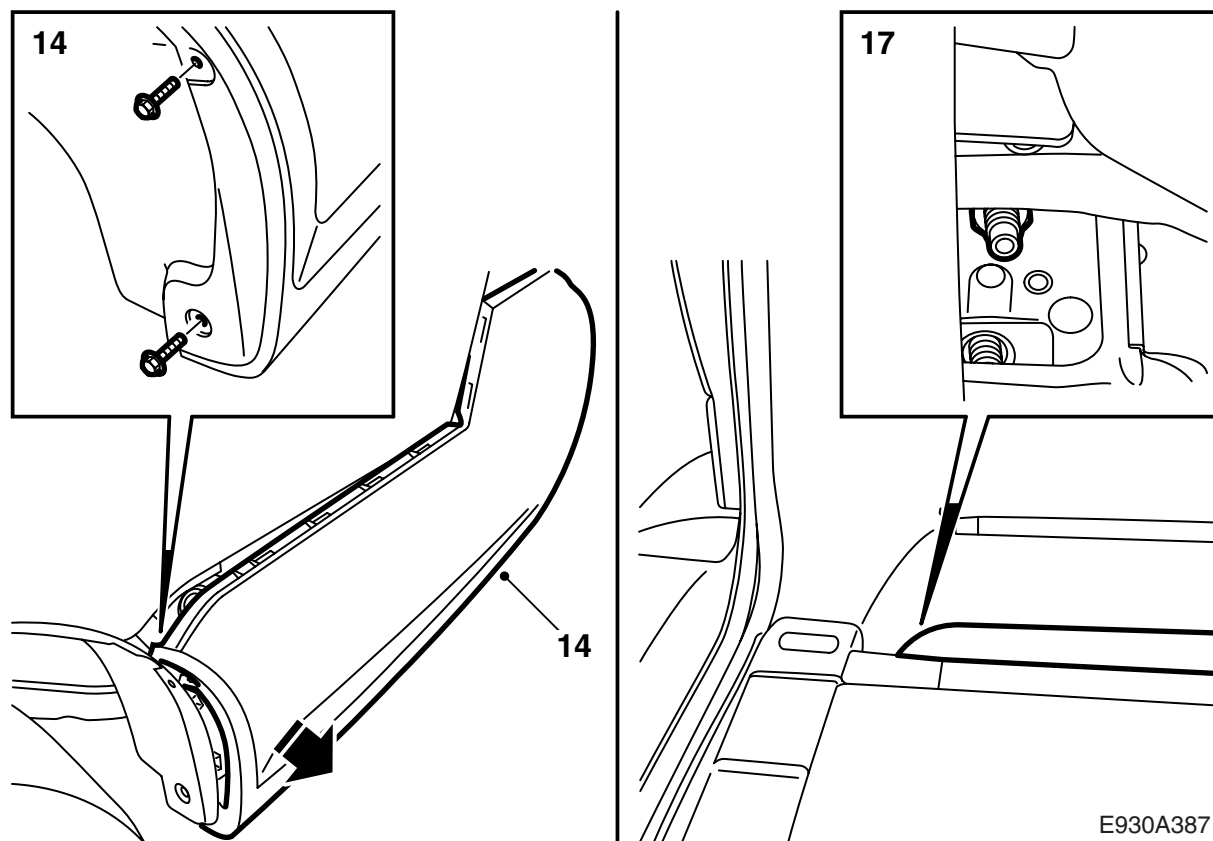
作業を開始する前に、距離センサーとホルダーの外から見える部分を、バンパーシェルと同じ色に塗装しなければならない。

重要事項

システムの機能に影響するので、塗料層の厚みは、 90μ を超えてはならない。

- 1 リアシートのシートクッションの左部分およびリアバックレストの左部分を前に倒し、左リアドアとバックレストの間のカバーパネルを取り除く。
- 2 トノカバーを持ち上げて外へ出す。
- 3 ストレージポケットのカバーを持ち上げて外し、ストレージボックスを持ち上げる。
- 4 防音パッドを取り外す。古いパッドを廃棄し、新品と交換する。
- 5 トランクルームのフロアを取り外す。
- 6 スカッフプレート、カバー 2 個、ボルト、クリップを取り外す。
- 7 **ステップ 7 ~ 12 は、左側に適用する。**
D ピラートリムに手が届くように、端のリアルーフカバーを外す。
- 8 D ピラートリムを取り外す。これはクリップで固定されている。
- 9 荷物シェルフのサポート、カバー 1 個、ボルト 3 本を取り外す。
- 10 ロックラグが外れるようにサイドクッション上端を引いて、サイドクッションを取り外す。次に、下端を外す。

- 11 サイドトリムの上端のボルトを取り外す。
- 12 サイドトリムを折りたたみ、CDチェンジャーが装備されていれば、そのコネクタを外す。サイドトリムを持ち上げて外す。



- 13 車両を上げる。
- 14 ホイールハウジングのボルトを取り外す。ホイールハウジングの端とリアフェンダーから、バンパーのクリップを引き外す。
- 15 **けん引装置装備車**：けん引装置のワイヤーハーネス用コネクタを取り外し、けん引装置をボディに保持しているボルト4本を取り外す。

重要事項

各外側ボルトは、独立したナットプレートに取り付けられている。

- 16 車をリフトダウンする。
- 17 バンパーを固定しているナットを取り外す。下側のネジには、けん引装置がある車の場合にのみナットが付いている。

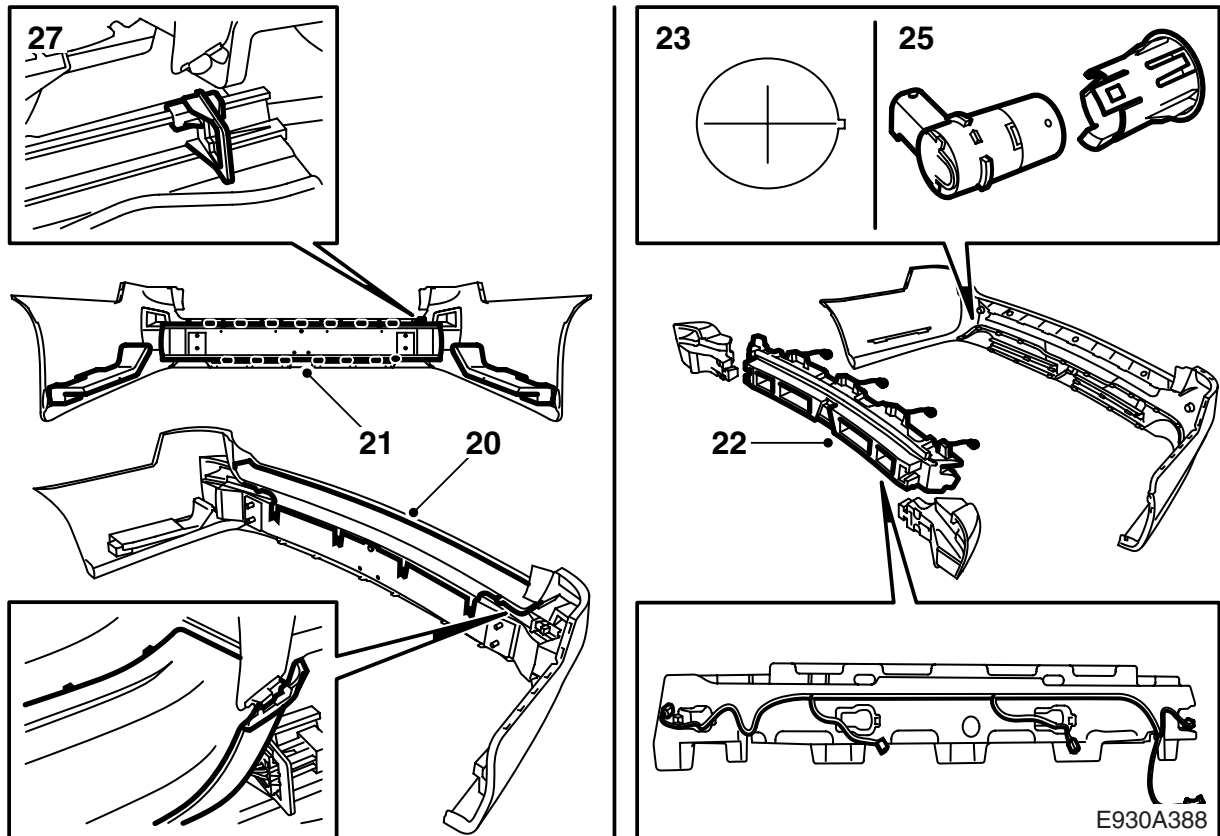
重要事項

塗装を損傷しないように、取り外し作業は注意深く行うこと。

- 18 **けん引装置装備車**：各補強材のボルトを取り外す。
- 19 同僚に手助けを頼み、バンパーを後方に持ち上げて外す。

重要事項

外したバンパーを清潔で柔らかい下敷きの上に載せておく。



- 20 以下のように、上部保護シェルを取り外す。
- ボルトを取り外す。
 - 前方に引き、保護シェルの外側部分を外す。
 - バンパーシェルから保護シェルを引き外す。
- 21 シェルからメンバーを分離する。
- 22 フォーム部分を取り外す。
- 23 バンパーシェルのポンチマークに、ドリルで、31 mm 径の穴を開ける。
- 24 ヤスリで削って、1x1 mm のガイド溝を付ける。ガイド溝は、穴の、バンパーシェルの左側を向いた面に付けること。

重要事項

削りすぎないこと！ さもないと、カバーがガイド上に来なくなる。

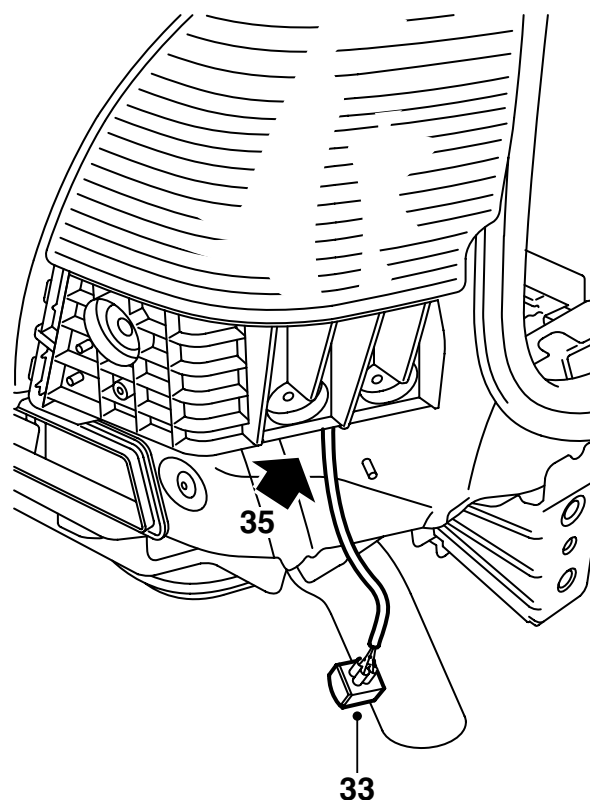
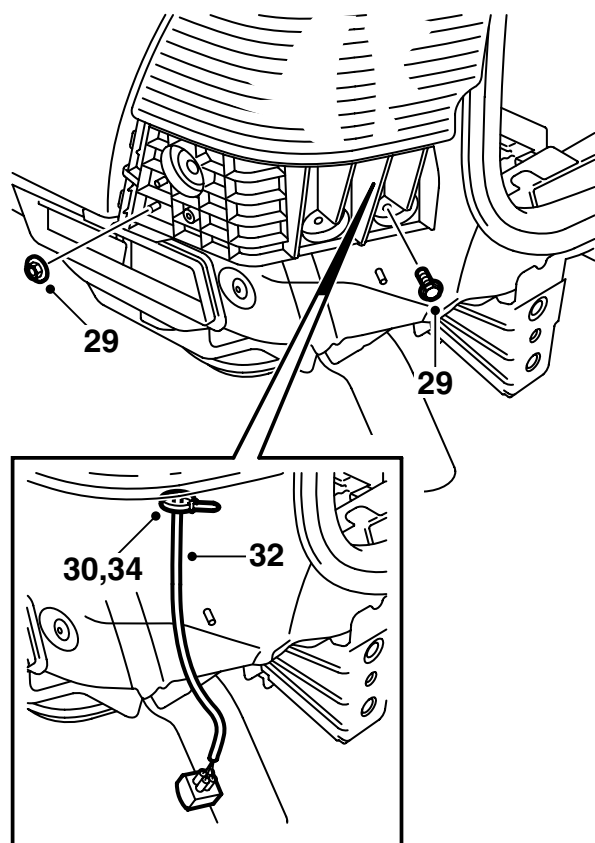
- 25 距離センサーを組み付け、バンパーシェルに取り付ける。
- 26 中央のフォーム部分にワイヤーハーネスを予備配線する。センサーにワイヤーハーネスを接続し、フォーム部分とメンバーを取り付ける。

警告

ワイヤーハーネスが挟まれていないことを確認する。誤った取り付けを行うとワイヤーハーネスを損傷し、短絡や火災の原因となる場合がある。

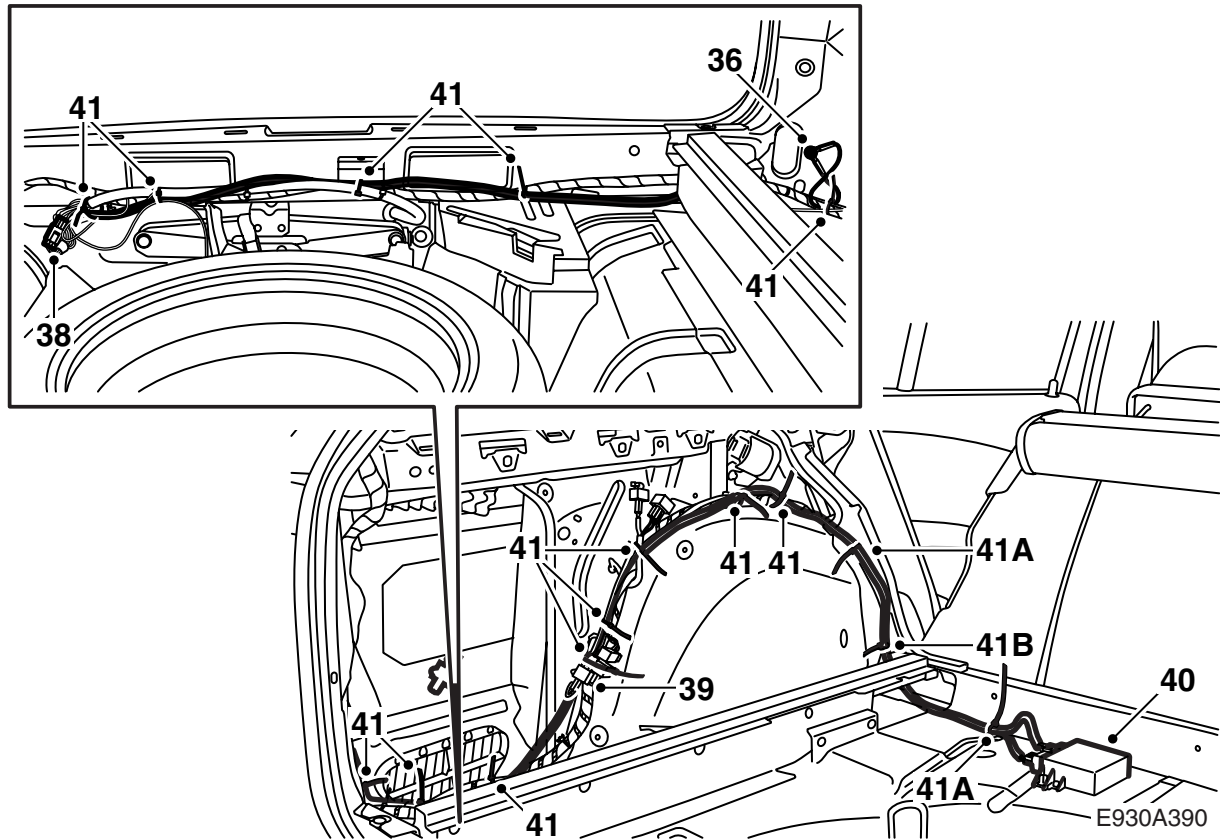
- 27 コネクターホルダーをバンパーレールに取り付ける。

- 28 上部保護シェルを取り付ける。



E930A389

- 29 左リアライトの下から、バンパーの左マウンティングブラケットを取り外す。
- 30 左リアライト下方のゴムグロメットからケーブルタイとテープを取り外す。
- 31 容易に挿入できるように、各端子をテープで束ねる。
- 32 ワイヤーハーネスをゴムグロメットに通し、各端子のテープ巻終り箇所から370 mmの所にグロメットを配置する。
- 33 各端子に巻いたテープを取り外し、以下のようにして各端子をベースに挿入する。
 - 1 黒 (BK)
 - 2 茶 (BN)
 - 3 黄 (YE)
 - 4 青 (BU)
 - 5 オレンジ (OG)
 - 6 グレー (GY)
- 34 テープと新しいケーブルタイ(小)をゴムグロメットに取り付ける。
- 35 左リアライトの下に、バンパーシェルの左マウンティングブラケットを取り付ける。ワイヤーハーネスがブラケットの中に配置されていないとしない。



36 トランクルームの左リアライト下方にある接地ポイントにアース線を接続する。

37 ワイヤーハーネスの太い部分を左ホイールハウジングに向けて敷設し、細い部分をラゲッジスペースのシル沿いに車の右サイドに向けて敷設する。

38 けん引装置ワイヤーハーネス用予備配線にコネクタを接続する。

けん引装置装備車：各コネクタを分離し、それらにワイヤーハーネスのコネクタを両方とも接続する。

39 ワイヤーハーネスのコネクタをCDチェンジャー予備配線に接続し、SPA ハーネスコネクタにブラインドプラグを取り付ける。がたつき音を回避するために、がたつき防止テープを取り付け、ケーブルタイで固定する。シートベルト箇所ではワイヤーハーネスを右に敷設し、ホイールハウジングに沿わせる必要がある。

CDチェンジャー装備車：各コネクタを分離し、それらにワイヤーハーネスのそれぞれのコネクタを接続する。がたつき音を回避するために、がたつき防止テープを取り付け、ケーブルタイで固定する。

40 制御モジュールにワイヤーハーネスを接続し、制御モジュールをフロアに取り付ける。各プラスチックナットを締め付ける。

41 ケーブルタイ（18本）を使用し、全長にわたってワイヤーハーネスを固定する。ワイヤーハーネスの余剰部分は、一緒にまとめ、ホイールハウジング上方に固定する。

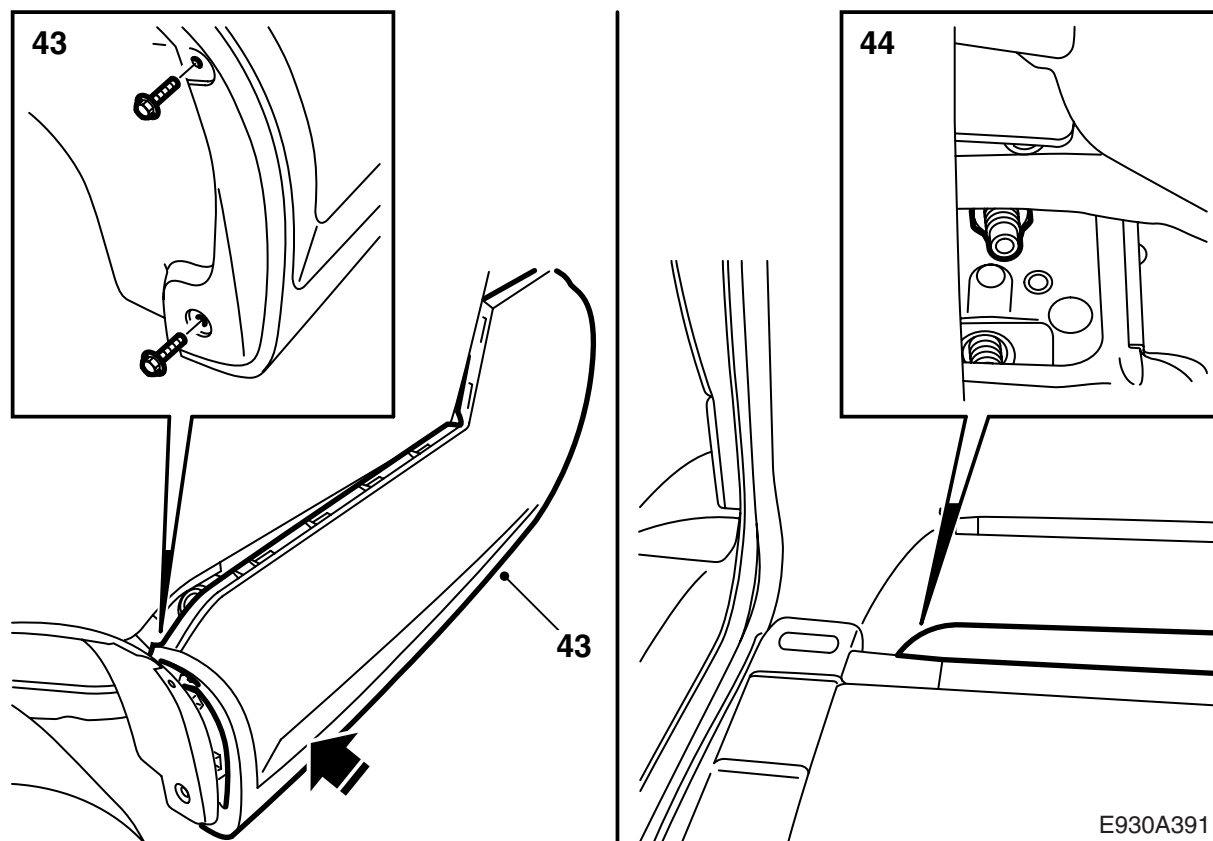


警告

ワイヤーハーネスが挟まれていないことを確認する。誤った取り付けを行うとワイヤーハーネスを損傷し、短絡や火災の原因となる場合がある。

A 溶接ボルトへの取り付け用ケーブルタイ

B 穴への取り付け用クリップ付きケーブルタイ



42 バンパーの位置を調整し、コネクタを接続する。

重要事項

塗装を損傷しないように、取り付け作業は注意深く行うこと。

43 ホイールハウジングの端とリアフェンダーの上方に、バンパーシェルを押し入れる。クリップが正しく配置されていることを確認する。ホイールハウジングの端にボルトを取り付ける。

44 バンパーを固定するナットを取り付ける。

締め付けトルク値：40 Nm (30 lbf ft)

45 **けん引装置装備車**：各補強材をボルトで車に締め付ける。

締め付けトルク値：40 Nm (30 lbf ft)

46 車両を上げる。

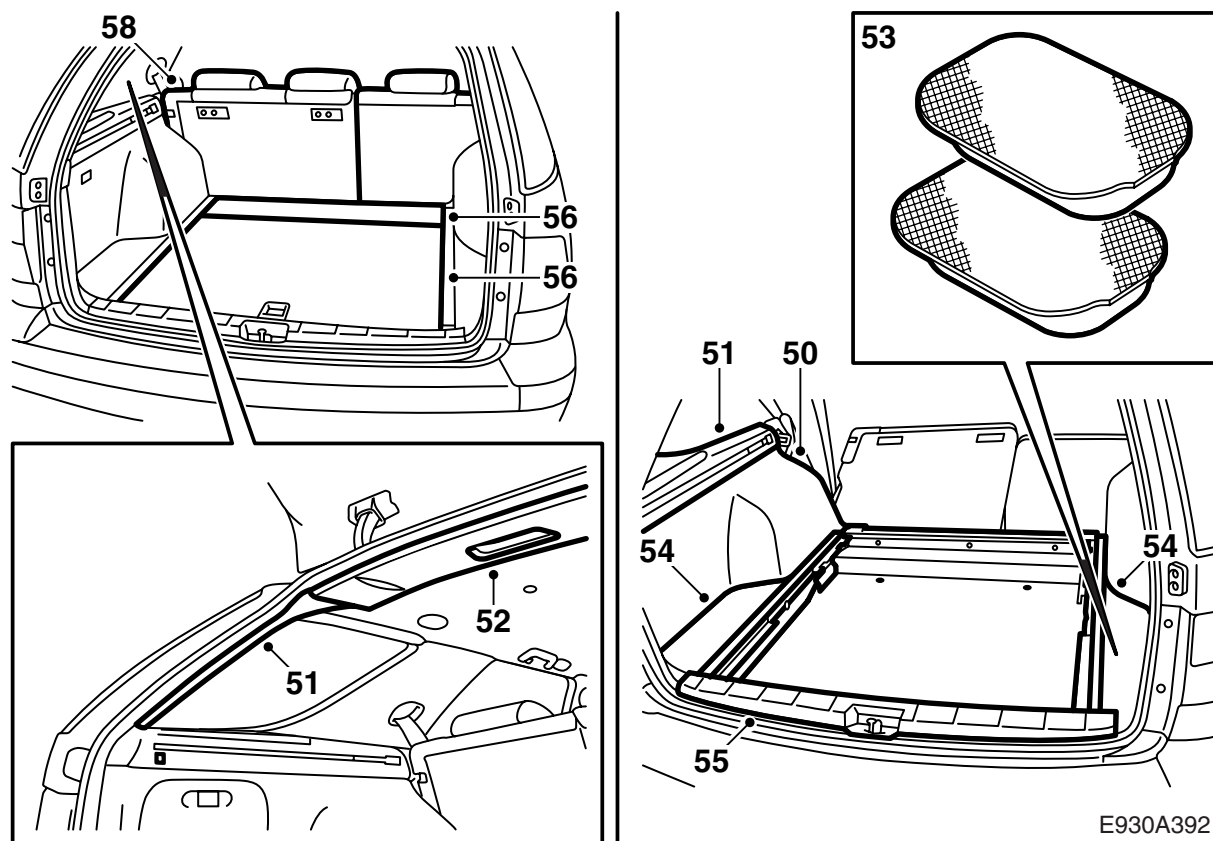
47 **けん引装置装備車**：けん引装置ワイヤーハーネス用コネクタを取り付ける。

48 **けん引装置装備車**：けん引装置をボディに保持する各ボルトと各ナットプレートを取り付ける。

締め付けトルク値：40 Nm (30 lbf ft)

49 車をリフトダウンする。

E930A391



- 50 サイドトリムをはめ合わせ、CDチェンジャーが取り付けられている場合は、その接続を行う。サイドトリム アッパーエッジの各ボルトを締め付ける。
- 51 トノカバー用サポート（ボルト3本）およびDピラートリムを元通りに取り付ける。
- 52 ルーフ照明灯を接続し、ルーフカバーパネルをしっかりと押し込む。
- 53 新品の防音パッドを取り付ける。
- 54 フロアのストレージポケットおよびトランクルームフロアの各外側パーツを取り付ける。
- 55 スカッフプレートを取り付ける。
- 56 トランクルームのフロアを取り付ける。
- 57 トノカバーを車に入れる。
- 58 左リアドアとバックレストの間のカバーパネルを取り付け、リアシートのバックレストとシートクッションを元通りに起こす。

- 59 システムがSIDからの数の異なる音響信号によって後方物体についての警告を発することを確認する。最初の音響信号は、物体が1.8 mの距離にあるときに発せられる。この信号は毎秒2回の音響信号であるが、この信号頻度は車両が物体に近づくに従って増大し、以下のように変化する。

- 1.8 - 1.3 m: 毎秒2回
- 1.3 - 0.9 m: 毎秒3回
- 0.9 - 0.3 m: 急速な断続音、毎秒5回から12回
- 0.3 m: 連続音